

令和 5 年度 指定管理者モニタリング年度評価表

施設名	徳島市立考古資料館	
指定管理者名	公益社団法人徳島市シルバー人材センター	
評価期間	令和 5 年 4 月 1 日 ~ 令和 6 年 3 月 31 日 (2 年目)	
評価者	指定管理者	徳島市立考古資料館 館長
	教育委員会	社会教育課 管理係 主事

1 目標の達成度についての評価

別紙のとおり

2 仕様書等に定める管理運営水準についての評価

評価項目		指定管理者 評価	教育委員会 評価
(1) 適正な管理運営			
管理運営 体制	人員の配置及び職員体制は適正か。	A	A
	職員の能力向上に向けた取組など人材育成は行われているか。	A	A
	労働基準法など関係法令に従って職員の労働管理は適正に行われているか。	A	A
利用料金	利用料金の管理及びその徴収、減免に係る手続き等は適正に行われているか。	A	A
情報管理	個人情報及び業務上知り得た機密事項を適正に管理する取組はできているか。	A	A
	著作権法等を遵守し、資料の無断転載の防止は徹底できているか。	A	A
危機管理	利用者の安全対策(事故防止等)及び危機管理は適切に行われているか。	A	A
環境配慮	省エネルギー等環境への配慮は十分になされているか。	A	A
指定管理者 の責務	法令・協定書等を遵守しているか。	A	A
	申請、届出など必要な手続きを、適切な時期に適正に行っているか。	A	A
(2) 事業計画の達成、サービスの水準			
運営業務	施設の設置目的、運営の基本方針に沿って適切に運営されているか。	A	A
	仕様書、事業計画の水準を満たした施設の運営が行われているか。	A	A
	提案事業・自主事業を計画どおり効果的に行っているか。	A	A
	考古資料館の施設・設備を有効に活用できているか。	A	A
	地域・関係機関・ボランティアなど外部団体との連携は推進されているか。	A	A
管理業務	施設・設備等の保守・検査を適正に行い、安全性・快適性を確保できているか。	A	A
	清掃・植栽管理等を適正に行い、衛生的で美しい環境を維持しているか。	A	A
	資料の良好な維持管理及び特別利用の承諾は適正にできているか。	A	A
	文書・備品等を適正に管理しているか。	A	A
利用者対応	利用者の意見を取り入れる取組や苦情等の対応は適切に行われているか。	A	A
	利用者に対する接遇及び相談業務は適切に行われているか。	A	A
利用促進	利用促進のための取組を十分に行っているか。	A	A
	ホームページ・パンフレットなど情報発信を積極的に行っているか。	A	A
(3) 収支等			
経理	仕様書等に沿って経理処理を適正に行っているか。	A	A
収支	収支の状況に不適切な点はないか。	A	A
経費節減	収入増加又は経費の抑制等が図られているか。	A	A

(4) その他			
今後の課題等	<p>わが国では、円安及びウクライナ情勢等を背景とする原材料価格の高騰等に伴うコスト上昇分を価格に転嫁する動きが進んでおり、国内企業物価は上昇が続くとともに価格上昇品目は更なる広がりを見せている。</p> <p>このような中、政府・日銀は物価と賃金が2%程度恒常的に上がり続ける「物価と賃上げでの好循環」を生み出すことを目指すとの考えを示している。</p> <p>このことを踏まえると、当館においても今後、賃金を含めた固定費の上昇が経営を圧迫することが予想されることから、様々な経費の節減に努めると共に状況によっては徳島市とも十分協議し対策をとる必要があると考えている。</p>		
評 価 項 目		指定管理者 評価	教育委員会 評価
(5) 総合評価			
指定管理者	<p>2021年から続く天然ガス(LNG)の価格高騰は、暖冬による燃料需要の低下等により、2023年6月には2年前の高騰直後くらいの水準に落ち着いている。また石炭価格においても、2021年11月以降は天然ガス以上に大きく値下がり傾向に至っている。</p> <p>これに加えて政府の電力料金負担軽減措置も実施されたことから、年度当初に予想された電力料金的大幅な値上がりが生じなかったため、比較的安定した運営管理を行うことができた。今後も、この状況が続くことを期待したい。</p>		
教育委員会	<p>全ての評価項目について、概ね仕様書等に沿った管理運営水準を達成できた。今年度は物価の上昇などの影響で先行きが見えない状況下での運営となったが、適切な管理運営を行うことができた。</p> <p>常設展示図録の作成においては、昨年度に引き続き教育委員会社会教育課文化財係と密に連絡・相談をしながら、着実に進めることができた。</p> <p>来年度も引き続き適切な管理運営に努めるとともに、今年度の経験を活かした取組に期待したい。</p>		
総合評価		A	A

【評価基準】

- S:仕様書、事業計画の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。
- A:仕様書、事業計画の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。
- B:仕様書、事業計画の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C:仕様書、事業計画の基準を遵守できていない又はその水準を下回る内容である。

令和5年度 徳島市立考古資料館指定管理における 目標の達成度についての評価

1 施設の概要

- (1) 施設名 徳島市立考古資料館
- (2) 所在地 徳島市国府町西矢野10番地の1
- (3) 設置目的 市民の教育、学術及び文化の創造と発展に寄与するため。
- (4) 開館年月日 平成10年11月24日
- (5) 延床面積 約803㎡

2 指定管理者の概要

- (1) 団体名 公益社団法人徳島市シルバー人材センター
- (2) 所在地 徳島市佐古四番町12番10号
- (3) 指定期間 令和4年4月1日から令和9年3月31日まで(5年間)
- (4) 指定管理者が行う業務の内容
 - ① 考古資料館事業に関する業務
 - ② 考古資料館の研修室等の利用及び考古資料館資料の特別利用の承諾に関する業務
 - ③ 考古資料館の維持管理に関する業務
 - ④ その他教育委員会が必要と認める業務

3 評価結果

1 目標の達成度				
評価項目	目標値	単位	備考	実績・評価
基本目標(多くの人に利用される施設づくり) 利用者にとって、より便利で快適な考古資料館とし、多くの人に利用される施設を目指します。				
入館者数	9,600	人/年	毎月800人×12ヶ月、展示室利用者数を重視	9,580
企画展示の満足度(平均)	80	%/年	アンケート結果による	90.7
参考指標 所見	<p>「入館者数」については、残念ながら僅かに目標値は下回ったものの、企画展や各イベントでは昨年度並みの参加者数を獲得することができていた。入館者数は回復しつつあるが、子どもの入館者数は減少しており、今後の課題にもなってくると思うので、今後も引き続き、考古資料館に興味を持ってもらえる工夫を考えていってほしい。</p> <p>「企画展示の満足度」については、目標値を上回る実績を残すことができた。アンケート結果からも、概ね高い評価を得られていた。特別企画展においては電気代高騰による影響が不透明なことで、当初の計画から運搬費を減らした内容になってしまったが、広報や配布物を工夫することで新規層の獲得に繋がったことは評価したい。</p>			A
個別目標①(市民が親しむ開放的な施設づくり) 市民ニーズを的確に把握することにより、市民が求める事業を企画し、積極的に取り組むことで、考古資料館と市民をつなぎ、市民が親しむ開放的な施設を目指します。				
「考古資料解説会」の参加人数	60	人/年	毎月5人×12ヶ月	150
「とくしま好古楽倶楽部」参加者の満足度(平均)	80	%/年	アンケート結果による	94.4
参考指標 所見	<p>「考古資料解説会」の参加人数については、目標を大きく上回る実績を残すことができた。昨年度から始めた事業であるが、テーマを工夫したことで昨年度より参加人数が大幅に増え、着実に成果を残せたことは評価したい。</p> <p>「とくしま好古楽倶楽部」参加者の満足度については、目標値を大きく上回り、高い満足度を得ることができた。テーマによって参加者が伸び悩むことが課題であるが、広報に力を入れるなど工夫が見られたことは評価したい。</p>			S

個別目標②(青少年の学びの場として活用する施設づくり)					
郷土の文化財を次世代に継承し、幼少期よりその価値に対する理解を深めるとともに、青少年の豊かな感性の育成に資するために、学校に対する働きかけを強化するなどにより、青少年の学びの場として活用する施設を目指します。					
参考指標	体験学習等の理解度	80	%/年	学校単位(小・中・高校)、アンケート結果による	93.2
	「ジュニア学芸員講座」参加者の理解度	80	%/年	アンケート結果による	100
	所見	それぞれの評価項目において、高い実績を残すことができた。参加者数は少なかったものの、アンケート結果では理解度も含め、内容についてもそれぞれ高い評価を得ることができていた。			S
個別目標③(事業成果を市民に還元する施設づくり)					
徳島市内に所在する様々な歴史・文化遺産の価値を市民に啓発し、市民が共有するために、市民ボランティアを活用したフィールドワーク等の実施を通じて、事業成果を市民に還元する仕組みを推進する施設を目指します。					
参考指標	「考古資料館講座」参加者の満足度(平均)	80	%/年	アンケート結果による	82.7
	考古資料館ボランティアの延べ参加者数	120	人/年	毎月10人×12ヶ月、活動内容を重視	103
	所見	「考古資料館講座」参加者の満足度については、それぞれの回において多くの参加者を獲得し、目標値を達成することができた。参加者の興味分野によって満足度に影響しているが、毎回一定の評価を得ることができていた。 「考古資料館ボランティアの延べ参加者数」については、残念ながら目標値を達成することはできなかったが、ボランティアへの指導を熱心に行っており、イベントの補助だけでなく、調査研究への参加など幅広い活動ができるようになったことは評価したい。			B
利用促進					
参考指標	広報活動①(メディア掲載数)	10	件/年	新聞・テレビ・雑誌等(ケーブルテレビ除く)	11
	広報活動②(チラシ・ポスター等作成数)	10	件/年	1事業につき1件(同一事業で何種類作成しても1件)	12
	ホームページ閲覧数	8,400	件/年	毎月700回×12ヶ月	11,235
	所見	「広報活動①」については、着実に事業を実施したことでメディアにも取り上げられ、目標値を達成することができた。 「広報活動②」については、目標値を達成することができた。作成したチラシを市内の小学校等に配布することで、一定の周知に繋がった。 「ホームページ閲覧数」については、目標値を大きく超えて達成することができた。ホームページの更新についても、更新頻度が増え、常に新しい情報を載せることができていた。			S
2 仕様書等に定める管理運営水準の達成状況					
管理運営水準(適正な管理運営、事業計画の達成・サービスの水準、収支等)					
	所見	モニタリング(事業報告・連絡調整会議・実地調査等)を通じ、一部対応・改善すべき点が見られた。			A
総合点数(100点満点)		80点		総合評価(S~C)	S

【評価基準(1目標の達成度)】

- S:優れた事業や取組が見られ、目標を大きく上回る顕著な成果があった。
- A:仕様書、事業計画のとおり事業を実施し、目標を達成することができた。
- B:仕様書、事業計画のとおり実施したが、目標を達成することができなかった。
- C:仕様書、事業計画のとおり実施できず又は実施したが工夫が見られず、目標を達成できなかった。

【評価基準(2仕様書等に定める管理運営水準の達成状況)】

- S:仕様書等に定める管理運営水準を達成できており、問題は見当たらなかった。
- A:仕様書等に定める管理運営水準について、改善を要する軽微な事項があった。
- B:仕様書等に定める管理運営水準について、改善を要する軽微な事項が多数あった。
- C:仕様書等に定める管理運営水準について、重大な瑕疵があった。(または業務改善に関する通知書を受けた。)

【総合評価】

- S(80点以上):管理運営状況は著しく良好である。今後も継続して同様の取組を推進すること。
- A(70点以上):管理運営状況は概ね良好である。更なる発展のための取組を行うことが望ましい。
- B(60点以上):管理運営状況は水準並みと認められるが不十分な面もある。事業の総括等を行い、改善が必要である。
- C(60点未満):管理運営状況に問題が見られる。問題点を早急に整理し、事業の見直し等を行うこと。